

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公表番号】特表 2006-515587(P2006-515587A)

【公表日】平成 18 年 6 月 1 日 (2006.6.1)

【年通号数】公開・登録公報 2006-021

【出願番号】特願 2004-560041(P2004-560041)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/197 (2006.01)

A 6 1 K 31/4245 (2006.01)

A 6 1 K 31/41 (2006.01)

A 6 1 K 31/401 (2006.01)

A 6 1 P 15/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/195 (2006.01)

C 0 7 D 271/06 (2006.01)

C 0 7 D 257/04 (2006.01)

C 0 7 D 207/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/197

A 6 1 K 31/4245

A 6 1 K 31/41

A 6 1 K 31/401

A 6 1 P 15/08

A 6 1 K 31/195

C 0 7 D 271/06

C 0 7 D 257/04 C

C 0 7 D 207/16

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 22 日 (2006.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アルファ - 2 - デルタリガンド又は薬学的に許容できるその誘導体を含んでなる、早発射精の治療用の医薬組成物。

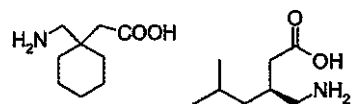
【請求項 2】

請求項 1 の組成物であって、要時基準で投与される組成物。

【請求項 3】

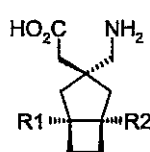
請求項 1 又は 2 の組成物であって、アルファ - 2 - デルタリガンドが：

【化 1】

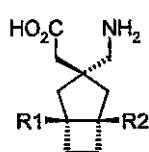


(I)

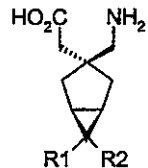
(II)



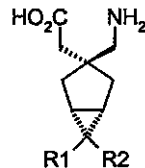
(III)



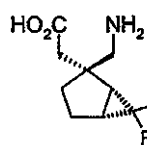
(IV)



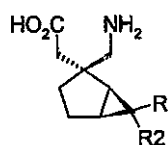
(V)



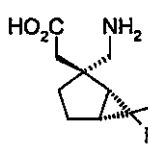
(VI)



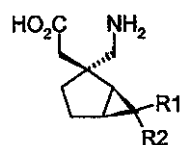
(VII)



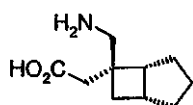
(VIII)



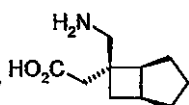
(IX)



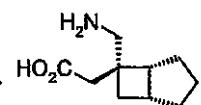
(X)



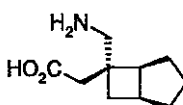
(XI)



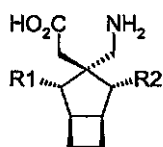
(XII)



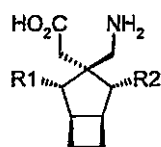
(XIII)



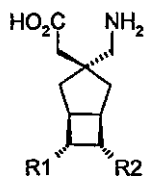
(XIV)



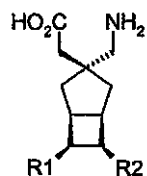
(XV)



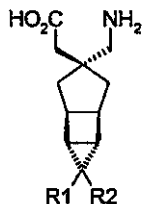
(XVI)



(XVII)

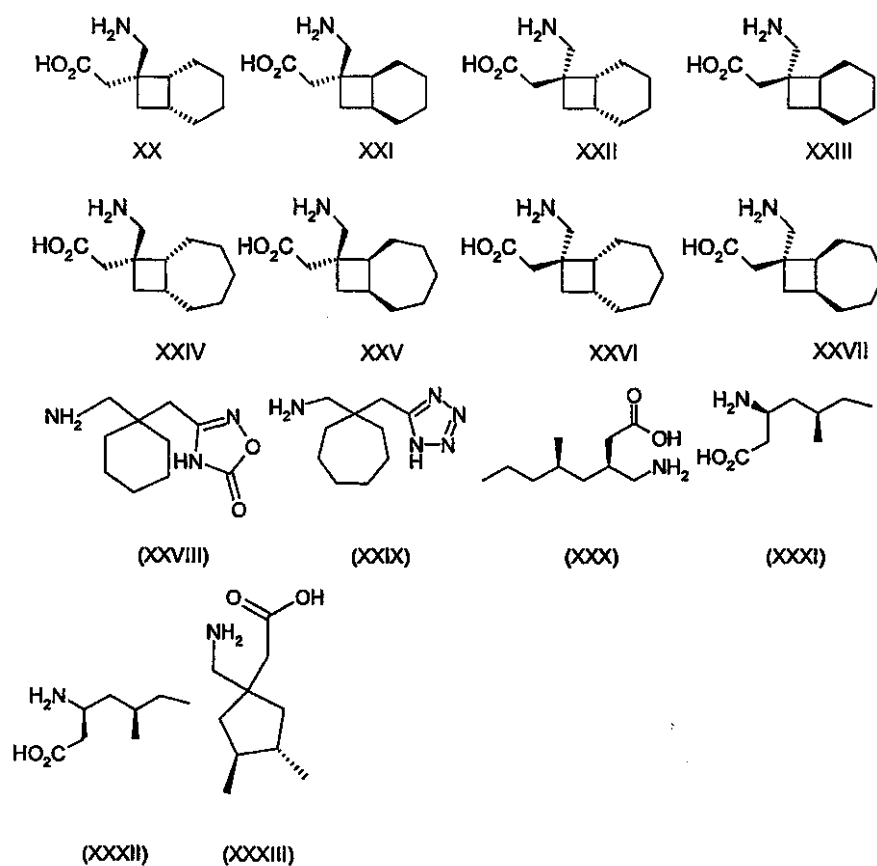


(XVIII)



(XIX)

【化 2】



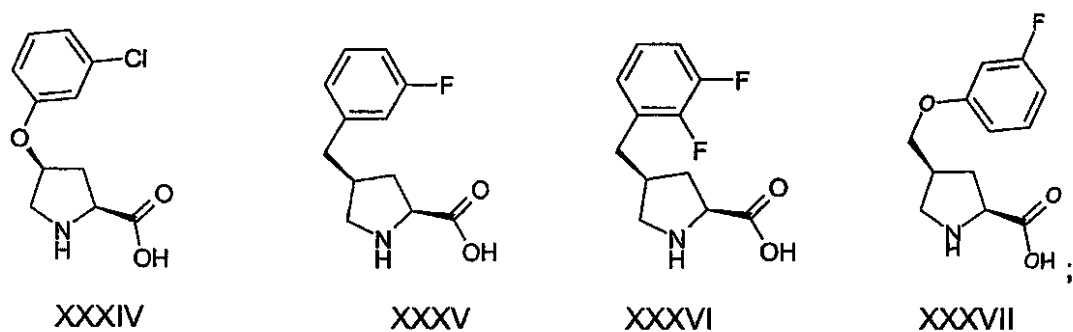
(式中、

R¹ 及び R² は、各々独立に、H、1～6 炭素原子の直鎖状又は分枝状アルキル、3～6 炭素原子のシクロアルキル、フェニル及びベンジルから選択され、但し、式 (XVIII) のトリシクロオクタン化合物の場合を除いて、R¹ 及び R² が同時に水素であることはない。

)

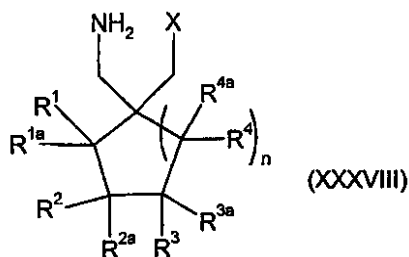
であるか又は薬学的に許容できるその誘導体；

【化 3】



式 (XXXVIII) :

【化 4】



(式中、

X は、カルボン酸又はカルボン酸バイオイステレであり；

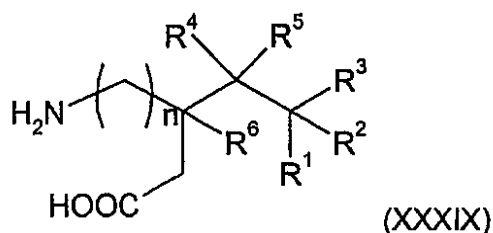
n は、0、1又は2であり；そして

R^1 、 R^{1a} 、 R^2 、 R^{2a} 、 R^3 、 R^{3a} 、 R^4 及び R^{4a} は、独立に、H及び $C_1 \sim C_6$ アルキルから選択されるか、又は、 R^1 と R^2 又は R^2 と R^3 は、一緒になって、 $C_1 \sim C_6$ アルキルから選択される1又は2の置換基で置換されていてもよい $C_3 \sim C_7$ シクロアルキル環を形成する。)

の化合物又は薬学的に許容できるその塩；

式 (XXXIX)：

【化 5】



(式中、

n は、0又は1であり、 R^1 は、水素又は $C_1 \sim C_6$ アルキルであり； R^2 は、水素又は $C_1 \sim C_6$ アルキルであり； R^3 は、水素又は $C_1 \sim C_6$ アルキルであり； R^4 は、水素又は $C_1 \sim C_6$ アルキルであり； R^5 は、水素又は $C_1 \sim C_6$ アルキルであり、そして、 R^6 は、水素又は $C_1 \sim C_6$ アルキルである。)

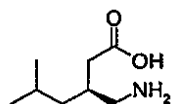
の化合物又は薬学的に許容できるその塩

から選択される組成物。

【請求項 4】

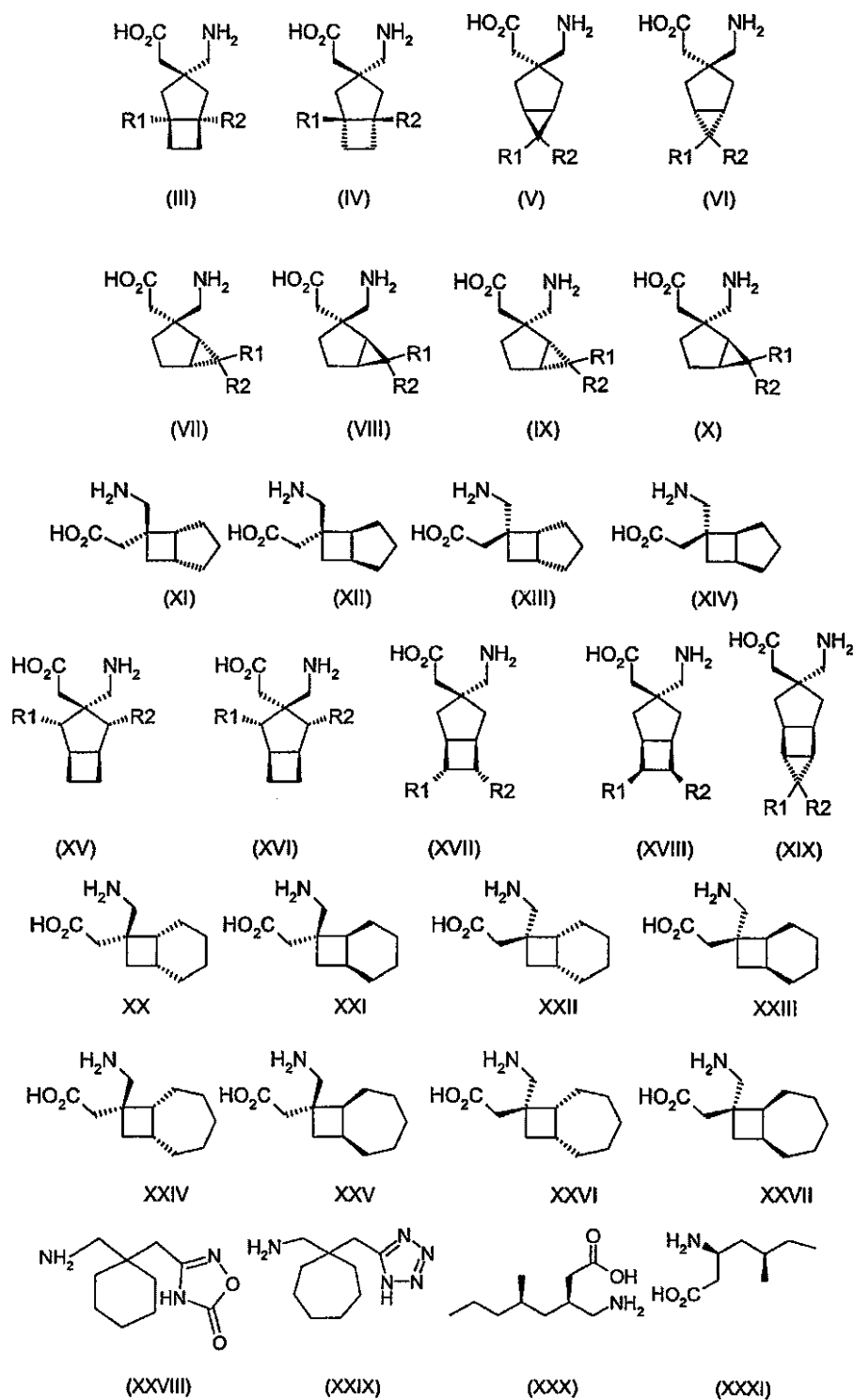
請求項 1 又は 2 の組成物であって、アルファ - 2 - デルタリガンドが：

【化 6】

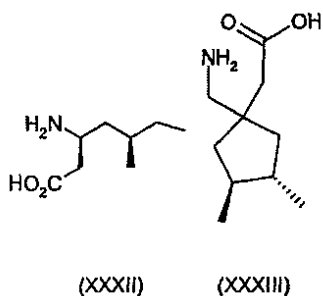


(II)

【化 7】



【化 8】



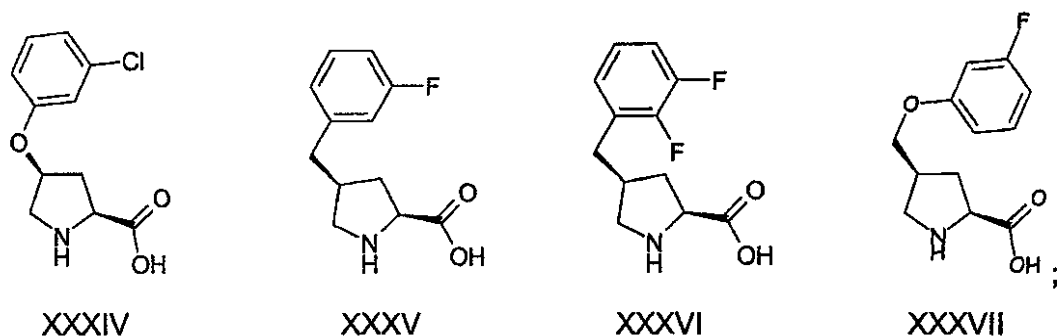
(式中、

R^1 及び R^2 は、各々独立に、H、1～6炭素原子の直鎖状又は分枝状アルキル、3～6炭素原子のシクロアルキル、フェニル及びベンジルから選択され、但し、式(XVIII)のトリシクロオクタン化合物の場合を除いて、 R^1 及び R^2 が同時に水素であることはない。

)

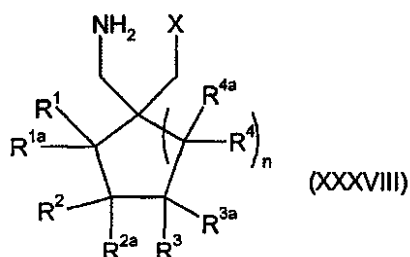
又は薬学的に許容できるその誘導体；及び

【化 9】



式 (XXXVIII) :

【化 10】



(式中、

X は、カルボン酸又はカルボン酸バイオイソステレであり；

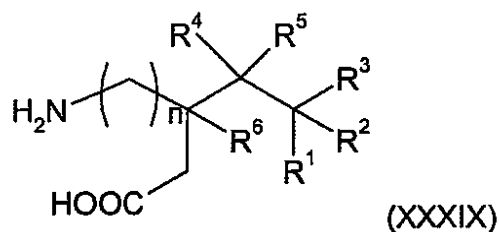
n は、0、1又は2であり；そして

R^1 、 R^{1a} 、 R^{2a} 、 R^{3a} 、 R^4 及び R^{4a} は、Hであり、そして、 R^2 及び R^3 は、独立に、H及びメチルから選択されるか、又は、 R^{1a} 、 R^{2a} 、 R^{3a} 及び R^{4a} は、Hであり、そして、 R^1 と R^2 又は R^2 と R^3 は、一緒になって、 $C_4 \sim C_5$ シクロアルキル環を形成する。)

の化合物又は薬学的に許容できるその塩；

式 (XXXIX) :

【化 1 1】



(式中、

R^1 は、メチル、エチル、 n -プロピル又は n -ブチルであり、 R^2 はメチルであり、 $R^3 \sim R^6$ は水素であり、そして n は0又は1である。)

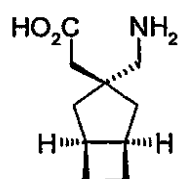
の化合物又は薬学的に許容できるその塩であって、 $3S, 5R$ 配置にあるものから選択される組成物。

【請求項 5】

請求項 1 又は 2 の組成物であって、アルファ - 2 - デルタリガンドが：

プレガバリン (II)、(1, 3, 5) (3 - アミノ - メチル - ビシクロ [3.2.0] ヘプチ - 3 - イル) - 酢酸 (III')：

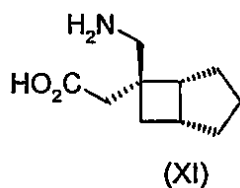
【化 1 2】



(III')

[(1R, 5R, 6S) - 6 - (アミノメチル) ビシクロ [3.2.0] ヘプチ - 6 - イル] 酢酸 (XI)：

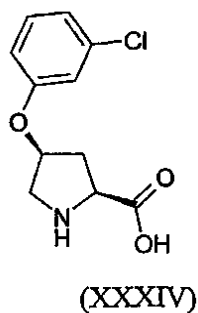
【化 1 3】



及び

(2S, 4S) - 4 - (3 - クロロ - フェノキシ) - ピロリジン - 2 - カルボン酸 (XXXIV)：

【化 1 4】



から選択される組成物。